

## 論文審査の要旨

報告番号	甲・乙 第 2726 号	氏名	池田 あゆみ
論文審査担当者	主査 内田直樹 教授 副査 泉崎雅彦 教授 副査 佐々木康綱 教授		
(論文審査の要旨)			
<p>本論文は、成人期アスペルガー障害 (Asperger's disorder ; AS) の診断における共感指数 (Empathy Quotient ; EQ) 及びシステム化指数 (Systemizing Quotient ; SQ) の有用性を検討した研究報告である。</p> <p>成人の AS 群及び健常群に対し、自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder ; ASD) 関連の質問紙 (EQ、SQ を含む) 及び ASD に関連の深いパーソナリティ尺度を施行し、2 群間での比較、各検査結果間の相関関係が検討した。</p> <p>その結果、AS 群の低い共感能と高いシステム化能が適切に評価され、AS 群は内向的、神経症的、精神病的な傾向、統合失調症型パーソナリティ障害類似の特徴を有することが確認された。また、EQ 及び SQ がパーソナリティ尺度との相関関係を認めず、即ちパーソナリティの影響を受けないことが判明し、これらが他の精神疾患との鑑別に役立つことも明らかとなった。したがって、成人期 AS を診断する際に EQ 及び SQ は有用な指標になり得ると考えられた。</p> <p>これまでに、EQ 及び SQ についてパーソナリティ尺度との関係を調査した研究報告はない。以上より、本論文が新しい知見を得ており、学術上価値のあるものと考えられる。</p>			
論文題名： アスペルガー障害における共感指数 (EQ) とシステム化指数 (SQ)			
掲載雑誌名： 精神医学 第 56 巻 第 2 号, 133-141 頁, 2014 年掲載			

(主査が記載、500 字以内)